

第62回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

平成25年11月22日(金)

沖縄総合事務局

第62回沖縄地方交通審議会船員部会

日 時 平成25年11月22日（金）14時00分

場 所 沖縄総合事務局 1F 「共用会議室」

出席者

公益委員	儀部委員、春田委員、上江洲委員
労働者委員	姫路委員、大崎委員、辻委員
使用者委員	大城委員

議事次第

○開 会

○議 事

1. 第61回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況等について
3. 意見交換

○閉 会

(配付資料)

1. 第61回船員部会の議事録（案）
2. 船員職業紹介実績等一覧表（平成25年10月分）
3. 「就業体験（インターンシップ）」実施概要
4. 船員職業安定年報（平成24年）

(議事概要)

事務局（徳田）

定刻でございますので、会議を始めさせて頂きます。

本日は、公益委員3名、労働者委員3名、使用者委員1名、が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たしており、有効に成立していることをご報告致します。

それでは、配付資料の確認をさせて頂きます。

(配付資料の確認)

儀部部会長代理、宜しくお願ひ致します。

儀部部会長代理

初めに第60回船員部会の議事録の承認についてお諮りします。

お手元に配付されております議事録をご確認ください。

(各委員の意見確認)

第61回船員部会議事録につきまして、原案のとおり承認して宜しいでしょうか。

(異議なし)

儀部部会長代理

異議なしということで、承認されたものと致します。

続きまして、議題2の「管内の雇用状況等」について、事務局にご説明をお願いします。

事務局（宮良）

平成25年10月分の管内雇用状況等の概要について報告致します。

●求人状況について

新規求人数は8件でした。

前月は4件で4件増加、また、前年同月も4件でしたので4件増加となっております。

月間有効求人数は14件でした。

前月は12件で2件増加、また、前年同月は6件で8件増加となっております。

月間有効求人数14件の内訳としましては、商船等11件、漁船3件となっております。

月末未済求人数は7件でした。

●求職状況について

新規求職数は4名でした。

前月は6名でしたので2名減少、また、前年同月は17名で13名の減少となっており

ます。

新規求職数4名の内訳としましては、商船等4名、漁船0名となっております。

月間有効求職数は17名でした。

前月は21名でしたので4名減少、また、前年同月は30名でしたので13名減少となっております。

月間有効求職数17名の内訳としましては、商船等13名、漁船4名となっております。

月末未済求職数は14名でした。

●成立状況について

10月は管内で1件の採用が決まりました。

成立状況としましては、平水の曳船に機関士として30代男性1名が採用されました。

●求人倍率について

10月の月間有効求人倍率は0.82倍でした。

前月は0.57倍でしたので0.25ポイント増加、また、前年同月は0.20倍でしたので0.62ポイント増加となっております。

●新規求職者の退職理由、又は求職理由別内訳について

10月の新規求職者4名のうち離職者3名の退職理由としましては、雇用期間満了1名、自己都合1名、健康上の理由が1名となっており、離職以外の方1名の求職理由としましては、陸上勤務中で転職を希望となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地につきましては、管内が2名、管外が2名となっております。

●失業等給付支給内訳について

基本手当の初回受給者は1名でした。

受給者実人員は5名、支給延べ件数は7件で、

基本手当支給金額は、1,181,072円、

その他の支給はありませんでしたので、

総支給額は、1,181,072円でした。

以上でございます。

儀部部会長代理

ありがとうございました。

ただ今のご説明につきまして、何か質問等ございますでしょうか。

上江洲委員

ここ数ヶ月、例年になく求人数、有効求人倍率ともに伸びていて、全国においても9月を見ると1.43というふうに求人が持ち直しているかのように見えるのですが、これは何か理由があるのでしょうか。

事務局（宮良）

お配りしております資料8ページ目の前年比較グラフをご覧下さい。月間有効求人数が

今年は、14名と増えており、それに対しまして、月間有効求職数は、17名と減っております。新規につきましても、求人数が増えて求職数が減っているというカーブになっております。具体的になぜ求人数が増え、求職数が減っているのかという背景は、把握仕切れておりません。もともと、数としては非常に小さい数字ですので、偶然の下がった上がったという結果として、有効求人倍率が高くなっているのではないかという推測でございます。

上江洲委員

特に持ち直しているとか、そういうことではないということですか。

事務局（宮良）

全国の状況をみると、漠然とではありますが持ち直しているのかなという感触は受けております。

上江洲委員

現場でもそういう見通しなのでしょうか。

大崎委員

沖縄の数字は余り大きくなないので、対比はできませんが、非常に船員が少なくなっているという状況はありますと聞いています。ただ、甲板部と機関部の比率もありますし、トータルでも一桁の数字なので、上がった下がったを一喜一憂できる問題ではないと思います。

ただ、求人が増えて求職者が減っているという中で、数字が持ち直してるとかいうのは、良い傾向だとは思いますが、求職者が減っているというのはどうなのかという気はします。諦めて職を探さない人もいるでしょうし、求職者が減っているというのは、皆さん仕事を求めてないのか、他に行ったのかという疑問もあります。

事務局（宮良）

月間有効求職数も少し下がり気味ではあります、職を求めてる人が少なくなっているという傾向は、前年比較の表でもお分かり頂けるかと思います。

儀部部会長代理

他にございますか。

大崎委員

2ページの退職理由のところで、「雇用期間満了」とありますが、雇用期間満了ということは、雇用期間を定めて雇用されてる方ということになりますよね。

管外なので、詳しいことは分からぬかもしれません、船員で雇用期間を定めて雇われてるという雇用関係を持たれている方が、どういう立ち位置でおられるのかというのを知りたいのですが。

事務局（宮良）

「立ち位置」といいます。

大崎委員

どういう雇用契約を使用者さんと結んでるのかということです。1年契約なのか、何年契約なのかというのが分かれば教えて頂きたい。

事務局（宮良）

「雇用期間満了」ということで、求職票を出されておりますが、以前勤められてた会社での雇用契約で期間があったかどうかというところまでは、把握できておりません。

大崎委員

船にアルバイト感覚で乗られている方がいるかといえば、海員組合的にはいないのです。正社員として雇われているのか、派遣として雇われているのかということはありますが、期限付きというのは、あまりありません。60歳以降の方なら、1年契約とかあるのですが、若手で期限を切られて雇用関係を結ばれているという状況であれば、それは、あまり好ましくないと思います。陸上ですと非正規等ありますが、船の場合は、それはありません。派遣であっても常用雇用の船員が派遣されるので、できれば「雇用期間満了」となっている人の雇用期間の中身を教えて頂けたらありがとうございます。

儀部部会長代理

雇用期間について、把握されてないということですが、今後、把握することは可能なのでしょうか。

事務局（宮良）

調査は進めてみたいと思いますが、求職されている方が前の会社との契約内容について、こちらに教えて頂けるかどうかは、その方次第になりますので、次回の部会で回答できるかどうか、お約束は難しいと思います。宿題として受け止めさせて下さい。

大崎委員

期間雇用の満了については、心配なところもあるので宜しくお願ひします。

姫路委員

今の件について、漁船であれば漁期満了という形もありますので、漁船だとも考えられます。いずれにせよ、期間満了の船員がいるのか、陸上のように期間を決めて就労させる会社があるのか、という疑問が出てくるので、今後、もしできるのであれば、漁船で雇われていたとか、そういうのが見て分かるように工夫をされたらいいのではという気がします。宜しくお願ひ致します。

事務局（宮良）

分かりました。ありがとうございます。

儀部部会長代理

宜しいでしょうか。

他に無いようでしたら、議題3の「若年内航船員確保推進協議会の動向」について、事務局からご報告お願ひしたいと思います。

事務局（宮良）

（沖縄若年内航船員確保推進事業『就業体験（インターンシップ）』の報告）

儀部部会長代理

ありがとうございました。

何かご質問やご意見等ございますでしょうか。

辻委員

学生への事後アンケートの中で、「良かったと感じている」が、ほぼ9割ということで、良かったと思いましたが、逆に悪かった意見というのはあったのでしょうか。「まあまあ良かった」という方が2名おられるようで、なぜ「まあまあ」なのか、そういう意見を具体的に書かれていないのでしょうか。

事務局（宮良）

現在、手元にある資料としましては、質問に回答頂いたアンケートの集計結果となっておりまして、詳細な意見については、これから調査を進めていくという段取りでございます。

辻委員

わかりました。

大崎委員

先ほどから報告では25名という数字を言っていたのですが27名ですか。

事務局（徳田）

27名参加したのですが、2名からはアンケートの回収ができなかったため、アンケートの回答者数は25名となっております。

大崎委員

実際に船に乗られたのは27名ですね。それで、これは全部男性ですか。

事務局（宮良）

はい、男性です。

大崎委員

この2年生は専攻科ですか。

事務局（宮良）

本科の2年生です。

大崎委員

ということは、16歳か17歳ということですね。

もう1点、宜しいですか。「だいとう」に6人乗られてますが、寝食はどこでされたのでしょうか。船の船員室というのは、6人分は無いのではと思いますが。

事務局（玉城）

多分、旅客室だと思います。

大崎委員

客室を使用してた訳ですか。

事務局（玉城）

客室にはベッドがあります。定員50名くらいで、全員乗ることは多分無いと思いますので。

大崎委員

当然、食堂は乗組員のところを使われてたと思いますが、就寝をどちらでされてたのかなと思いました。

事務局（玉城）

乗組員の船室では無理があるのでやはり客室ではないかと思うのですが、把握してはおりません。

大崎委員

どこの船でも船員さんの生活居住区というのは、オープンにはなっていません。一般公開等で学生さんが乗ったときも、結局は客室とか、ブリッジとか、機関室とかは見学するのでしょうかけど、プライベートなところは見せないじゃないですか。そういうところも見て、余り広くないけどもここで寝泊まりするんだという実体験も必要じゃないかなという気はします。日帰りの船舶であればいいのでしょうか、船員は船に寝泊まりをする必要もあるので、そういう体験も今後は考えていった方が良いのではと感じます。

事務局（宮良）

これまでの若年内航船員確保推進協議会が実施した事業の中では、船の見学において船員の寝泊まりする部屋もできる範囲で見学できるように努めて対応しております。

辻委員

定着率の問題として、要は船に乗ったはいいけど、理想と違ったということもあるかと思いますので、現実はこんなもんだよというところをもう少し見せた方が良いのではと思います。特にフェリーの場合は、客室等がきらびやかに見える訳ですが、実際、内航船になれば、もっと狭い、それこそ汚いというような世界もある訳です。乗ったときのギャップがあって、若い人が結構辞めたりするというのが実態としてある訳なので、やはり、そういうところも含めて、もう少し現実を見せていくような形を考えいかなければ、確保・育成というのは難しいんじゃないかなと思います。

儀部部会長代理

ありがとうございました。

事務局に質問ですが、後日精査したものを報告して頂けるのでしょうか。

事務局（宮良）

精査してご報告できるのは1月になるかと思いますが、作業を早目に進めて、報告書ができ上がるよう努めたいと思います。でき上がり次第、報告させて頂きます。

儀部部会長代理

宜しくお願ひします。

他に何かございますか。宜しいですか。

無ければ、事務局から「海事教室」についての経過報告がありますのでお願ひします。

事務局（徳田）

（沖縄若年内航船員確保推進事業『海事教室』について経過報告）

儀部部会長代理

ありがとうございました。

今の点について、ご質問、ご意見等ございますか。

宜しいでしょうか。

無ければ、事務局から連絡をお願いします。

事務局（宮良）

前回、大崎委員からご質問がありました、雇用状況等一覧表の資料の2ページ目にあります新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳表の中で、「この『外国』の欄に入るのはどういうかたちでこちらに申請が出されるのでしょうか。」というご質問でしたが、こちらにつきましては、管内、管外が国内の会社に在籍していた方で、外国でお勤めされた方が日本に戻りまして求職活動を行うという場合には、ここの欄に入ることになります。

大崎委員

今までそういう事例はあったのですか。

事務局（宮良）

少し遡ってみたのですが、ここに件数が入ったことはありませんでした。

大崎委員

他の船員部会のこのような表で、外国という欄はありますか。

事務局（宮良）

我々の手元に他の地方の部会での細かい資料が来たことはありませんので、どういう資料を使用してかというところは、申し訳ないですが把握しておりません。

大崎委員

見た覚えがあまり無いので質問をさせてもらいました。
外国の会社を退職してこちらに来られたという方がここに出る訳ですね。

事務局（宮良）

そういうことです。

大崎委員

了解です。ありがとうございます。

事務局（宮良）

それともう1点、「求人と求職欄の中に『通信部』とあるのですが、最近ずっとここに数字が無いようですが、管内以外で全国的にこの通信部の求人や求職のデータがあれば教えて頂きたいと思います。」ということでしたが、こちらについて全国的にも件数は少なく、ご指摘のとおり沖縄でも最近、ほとんどここに件数が上がったことはありません。

そこで、お配りしております資料「船員職業安定年報平成24年度版」の中に、全国版の求人・求職の状況というのがございます。第3表として、「船種別、部別等新規求人・求職・成立状況」という表がございまして、こちらの方に「無線部」とございますが、他の機関、甲板、事務部と比べても件数が少なくなっています。このように、全国的にも少ないというのがこの資料でもお分かりになるかと思います。

詳細については、お手元でご確認頂ければと思います。

以上、先月の質問に対してのご報告とさせて頂きます。

儀部部会長代理

ありがとうございます。

大崎委員

このグラフの無線部職員の右側にある「員外通」というのは何を示していますか。

事務局（島袋）

海技免状を持たない部員です。

姫路委員

通信士だと、資格を持っているのではないですか。

事務局（島袋）

陸上の部分と海技免状の両方を持たなければいけません。

辻委員

電子通信を持ってない方ということですか。

事務局（島袋）

海技免状を持ってない方です。

姫路委員

無線部に海技免状は関係ないのではないでしょうか。無線の通信士の資格を持っている人が、通信長とか職員になるのではありませんか。

事務局（島袋）

それは、海技免状を持つての方ですね。

姫路委員

甲板や機関ではないので、海技免状は関係ないのではありませんか。

辻委員

1級海技士（電子通信）という方でしょうか。

姫路委員

なるほど、海技士（電子通信）ですか。その資格がない人ということですね。

辻委員

そのような方がここに入るということですね。

事務局（島袋）

そうです。

事務局（宮良）

この「員外通」に関して、どこに件数が上がっているかというと、漁船「その他」になってますので、漁業調査船等少し特殊な船なのではないかという推測なんですが、なぜこの2件がカウントされてるのか、そこまでの詳細については調べが及んでおりません。

大崎委員

「員外通」とは、何かの略ですか。

事務局（島袋）

「員外通信士」となっていたと思います。

大崎委員

分かりました。ありがとうございます。

儀部部会長代理

ありがとうございました。他に宜しいでしょうか。

無ければ、次回の部会について、事務局からご連絡をお願いします。

事務局（徳田）

12月と来年1月の部会についてお知らせしたいと思います。

次回、12月の船員部会は、12月20日（金）、今回と同じこちらの1階共用会議室

で14時より開催致します。

1月の部会に関しましては、1月24日(金)となっておりますが、例年どおり部会の後に新年会を開きたいと考えていて、その都合上、通常2時から開催していました部会を4時から開催し、その後、5時30分から1階食堂のほうで新年会を始めたいと思っています。宜しくお願ひ致します。

12月、1月ともに、ご都合が悪い場合は、なるべく早くご連絡宜しくお願ひ致します。
以上です。

儀部部会長代理

日程の方、宜しいでしょうか。

それでは、本日の部会はこれで終了します。お疲れさまでした。